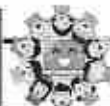


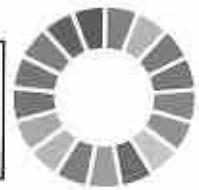
2年 国語 年間指導計画



月	単元	教材	学習内容	知・技	思・判・考	態度	学びのプラン
4	1 広がる 学びへ	見えないだけ	表現の特徴に注意し自分なりの感想を持ちながら読み取る	○◎	○		
		アイスプラネット	登場人物の言動や心情を表す表現を読み取る	○◎	○	○	
		漢字に親しもう1	熟語の構成について理解する	◎			
		聞く 意見を聞き、整理して検討する	目的や状況に応じ話の要点を整理しながら聞き取る		◎	○	
		文法への扉1 単語をどう分ける？	活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する	◎			
5	10 三	魅力的な提案をしよう▼プレゼンテーション をする	わかりやすい発表を行うため効果的な資料を作成する		◎	○	
		枕草子	四季の趣について読み取り、自分流の枕草子を書く		◎	○	
		季節のしおり 春	二十四節季などの言葉から伝統的な言語文化に親しむ	○◎	◎	○	
6	2 多様な 視点から	クマゼミ増加の原因を探る	本文の説明の仕方の特徴を捉え、筆者の考えを読み取る	○◎	◎	○	○
		情報整理のレッスン 思考の視覚化	意見と根拠、具体と抽象との関係性について理解する		◎	○	
		情報を整理して伝えよう 読書ガイドを作る	多様な方法で情報を集め、その情報を整理し考えをまとめ、一つの作品として紙面を作る	○◎			
		漢字1 熟語の構成	熟語の構成について理解する	◎			
		3 言葉と 向き合う	短歌に親しむ	作者の物の見方や考え方について自分の体験と関連づけて考えを持つ	◎	○	○
7	情報× SDGs いつも本 はそばに	短歌を味わう			◎	○	○
		言葉の力	言葉についての筆者の考えを読み取る		◎		
		言葉1 類義語・対義語・多義語	教科文を読み類義語・多義語・多義語について理解する	◎			
		語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉	抽象的な概念を表す言葉の知識を増やす		◎	○	
		メディアの特徴を生かして情報を高めよう/ デジタル市民として生きる	メディアについて知識や体験などと関連づけて自分の考えを持つ		◎	○	
9	4 人間の きずな	読書を楽しむ	読書教材を読み内容・表現の工夫について気付いたことをまとめる		◎	○	
		翻訳作品を読み比べよう			◎	○	
		読書コラム「わからない」は人生の宝物	構成や場面の工夫に着目して作品を味わう		◎		
		季節のしおり 夏	夏を描いた作品を読み伝統的な言語文化に親しむ		◎		
		字のない菜書	家族のきずなや人間関係について自分の考えを持つ		◎	○	○
10	5 論理を 捉えて	表現を工夫して書こう ▼手紙や電子メールを書く	効果的に伝わるように表現を工夫して手紙を書く	○◎	◎	○	
		控筆 表現の効果を考える	文章を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて話し合う	○◎	◎	○	
		言葉2 敬語	敬語表現について理解を深める	◎			
		聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	インタビューを通じて的確な質問を返すことを学ぶ		◎		
		漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	同音異義語について理解する	◎			
11	6 いにし えの心を 訪ねる	モアイは語る——地球の未来	各段落の役割や叙述の順序に注意して内容を理解する		◎	○	○
		思考のレッスン1 根拠の吟味	意見と根拠、具体と抽象等の情報の関係性について理解する		◎	○	
		根拠の適切さを考えて書こう ▼意見文を書く	社会生活の中から課題を決め、情報を集め自分の意見を持つ		◎		
		立場を尊重して話し合おう ▼討論で多角 的に検討する	社会生活の中から話題を決め異なる立場を想定して説得力のある意見 を述べる		◎	○	
		聞きひたる 月夜の浜辺	詩の朗読・音読を通して内容を深く味わう		◎	○	
12	7 価値を 語る	季節のしおり 秋	秋の詩歌を味わい伝統的な言語文化に親しむ		◎		
		音読を楽しむ 平家物語			◎	○	○
		「平家物語」の世界 ／「平家物語」の主な登場人物たち	朗読して古典の楽しむ		◎	○	
		隔的——「平家物語」から	古典の文章を朗読し調子やリズムに慣れ作品を楽しむ		◎	○	○
		仁和寺にある法師——「徒然草」から	作者の物の見方や考え方について自分の考えを持つ		◎	○	○
1	8 表現を 見つめる	漢詩の風景	漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう		◎	○	○
		君は「最後の晩餐」を知っているか	表現の工夫に注意し筆者の物の見方や考え方を読み取る		◎	○	○
		「最後の晩餐」の新しさ	解説文を読み多角的な考えや視野から情報を整理する		◎		
		文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	用言の活用について知る		◎		
		季節のしおり 冬	冬を描いた作品の一篇を読み伝統的な言語文化に親しむ		◎		
2	いつも本 はそばに	立場を尊重して話し合おう ▼討論で視野を広げる	作品に対する内容を踏まえ自分の意見等を構成を工夫しながら書く	○◎	◎	○	
		「自分らしさ」を認め合う社会へ				◎	○
		読書案内 本の世界を広げよう	読書を通してさまざまな状況や考えに触れ、考えを深める		◎	○	
3	1	走れメロス	登場人物の行動や考え方について、自分の考えを持つ		○◎	○	
		文法への扉3 一字違いで大違い	付属語について知る		◎		
		描写を工夫して書こう ▼心の動きが伝わるように物語を書く	気持ちや気持ちの変化が効果的に伝わるように表現を工夫して書く		◎	○	
2	4	言葉3 話し言葉と書き言葉	話し言葉、書き言葉の果たす役割について知る		◎		
		漢字3 送り仮名	送りがなの付け方の原則を知る		◎		
3	2	国語の学びを振り返ろう ▼「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	題材を決め意図が効果的に伝わるように表現を工夫して書く	○◎	◎	○	
		壁	言葉や作品に関する筆者の考えを読み取る		◎	○	

【教科目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。



【評価の観点】

知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【評価の方法】

知識・技能	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題への取り組み
思考・判断・表現	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における思考及び表現力
主体的に学習に取り組む態度	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における取り組み

【学習方法】

- ・授業準備をしっかりと行い、積極的に発言し、熱心に話し合い活動や作業を進める。
- ・板書を写すだけでなく、教師や級友の発言をメモしたり、調べたことをノートに書き込む等、工夫する。
- ・ワークシートでの作業や課題を自ら積極的にを行い、黒板を写すだけにならないようにする。
- ・授業中に文字の色や声、資料の貼り付けなどで強調したところから重点的に学習を進めていく。
- ・ニュースや新聞などから、学習内容と日常生活の関連を見つけ出し、社会の動向を探る姿勢を持つ。

2 学年 数学の学習

川崎市立田島中学校 数学科
担当者 小林正弥 小林一之 岩田尚之

1. 教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2. 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。

3. 評価の方法

「知識・技能」の評価

〈評価資料〉

- ・定期テスト
- ・レポート
- ・その他

「思考・判断力・表現」の評価

〈評価資料〉

- ・定期テスト
- ・レポート
- ・その他

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

〈評価資料〉

- ・レポート
- ・問題集への取り組み
- ・目標ふりかえりシート
- ・その他

令和7年度 数学科 第2学年 年間指導計画

担当 小林正弥 小林一之 岩田尚之

月	章	単元	学習の内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	キャリア	SDGs	MP
4	1	1 式の計算 ・単項式と多項式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法,除法 ・式の値	同類項の意味と、同類項をまとめる式の加法、減法の計算や、単項式の乗法、除法が混ざった計算をする。	◎		○		SDGs 4	
		2 式の活用 ・式の活用 ・等式の変形	式の計算を利用して、数量を一般的に明らかにする。		◎	○	キャ		
6	2	1 連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・いろいろな連立方程式	連立方程式とその解の意味を理解し、加減法、代入法を用いて連立方程式を解く。	◎		○			
		2 連立方程式の活用 ・連立方程式の活用	連立方程式を使って、問題を解決する。		◎	○	キャ		
9	3	1 1次関数 ・1次関数の値の変化 ・1次関数のグラフ ・1次関数の式の求め方	1次関数の特徴を比例と関連付けて考察し、表、式、グラフの書き方、求め方を理解し、その特徴や性質を学習する。	◎		○		SDGs 4	
		2 1次関数と方程式 ・2元1次方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ	2元1次方程式とグラフの関係を学び、それを用いて連立方程式の解を求める。		◎	○	課		
		3 1次関数の活用 ・1次関数の活用	1次関数を使って、問題を解決する。		◎	○	キャ		
12	4	1 平行線と角 ・直線と角 ・多角形の内角と外角	対頂角や同位角などの性質を理解し、問題を解決する。	◎		○			MP 各章ごと
		2 合同と証明 ・合同な図形 ・三角形の合同条件 ・証明とそのしくみ ・作図と証明	仮定から結論までの過程を確かな根拠を用いて筋道を立てて考え、証明する。		◎	○	課		
1	5	1 三角形 ・二等辺三角形 ・二等辺三角形になるための条件 ・正三角形 ・直角三角形の合同条件	二等辺三角形や直角三角形の性質および条件を学習し、それらを筋道を立てて考え、証明する。		◎	○			
		2 四角形 ・平行四辺形とその性質 ・平行四辺形になるための条件 ・特別な四角形	基本的な図形の定義や定理を理解し、図形になるための条件などを記号を使って表わし、その意味を読み取る。		◎	○	課		
		3 三角形と四角形の活用 ・平行線と面積 ・三角形と四角形の活用	三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で使う。		◎	○	キャ		
3	7	1 データの散らばり ・四分位数と四分位範囲 ・箱ひげ図	四分位範囲や箱ひげ図の意味を理解し、データを整理し、箱ひげ図で表す。	◎		○	課		
		2 データの活用	四分位範囲や箱ひげ図を使ってデータの分布の傾向を読み取り、判断する。		◎	○	課		
		2年生のまとめ		○	○	○			



令和8年度 第2学年 理科年間指導計画

担当 齋藤 翼

月	単元	章	学習内容	評価				
				知	思	主		
4月 (11)	[エネルギー] 電流とその利用 (33) 	電流とその利用			○			
5月 (13)		1章 電流の性質	1 電流が流れる道すじ 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流の関係 5 電流、電圧、電気抵抗の求め方 6 電流のはたらきを表す量	◎	◎			
		2章 電流の正体	1 静電気 2 静電気と電流の関係 3 電流の正体 4 放射線の発見とその利用	◎	◎			
			3章 電流と磁界	1 磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ	◎	◎	○	
				力だめし				
				補充・深化(4)				
7月 (8)		[生命] 生物の体のつくり とはたらき (34)  	生物の体のつくりとはたらき			○		
8月 9月 (15)			1章 生物の体をつくるもの	1 生物の体の成り立ち 2 細胞のつくり 3 細胞のはたらき	◎	◎		
			2章 植物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をつくる 2 植物の呼吸 3 水や栄養分を運ぶ	◎	◎	○	
10月 (16)			3章 動物の体のつくり	1 栄養分をとり入れる 2 動物の呼吸 3 不要な物質のゆくえ 4 物質を運ぶ	◎	◎		
			4章 動物の行動のしくみ	1 感じとるしくみ 2 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3 運動のしくみ	◎	◎	○	
力だめし								
補充・深化(5)								
11月 (16)	[地球] 地球の大気と 天気の変化 (26) 		地球の大気と天気の変化			○		
12月 (10)		1章 地球をとり巻く大気の様子	1 大気のなかではたらく力 2 大気の様子を観察する	◎	◎	○		
		2章 大気中の水の変化	1 霧のでき方 2 雲のでき方 3 空気中に含まれる水蒸気の種類	◎	◎			
		3章 天気の変化と大気の動き	1 風がふくしくみ 2 大気の変化による天気の変化 3 地球規模での大気の動き	◎	◎	○		
		4章 大気の動きと日本の四季	1 陸と海の間の大気の動き 2 日本の四季の天気 3 天気の変化がもたらす恵みと災害	◎	◎	◎		
力だめし								
補充・深化(4)								
1月 (12)	[物質] 化学変化と原子・ 分子 (33) 	化学変化と原子・分子			○			
2月 (15)		1章 物質の成り立ち	1 物質を加熱したときの变化 2 水溶液に電流を流したときの变化 3 物質のもとになる粒子 4 原子に結びついてできる粒子	◎	◎			
		2章 物質の表し方	1 物質を表す記号 2 物質を表す式 3 化学変化を表す式	◎	◎			
		3章 さまざまな化学変化	1 物質どうしが結びつき変化 2 物質が酸素と結びつく変化 3 酸化物から酸素をとり除く変化 4 化学変化と熱の出入り	◎	◎	○		
		4章 化学変化と物質の質量	1 化学変化の前後での物質の質量 2 反応する物質どうしの質量の割合	◎	◎	◎		
3月 (8)	力だめし							
補充・深化(4)								





1) 教科目標

外国語を通じて、言語に対する理解を深め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2) 評価規準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	<p>【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を正確に理解している。</p> <p>【技能】 <u>聞くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>読むこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>話すこと(やりとり・発表)</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。</p> <p><u>書くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p><u>聞くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>読むこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>話すこと(やりとり・発表)</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりしている。</p> <p><u>書くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p><u>聞くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞き取ろうとしている。</p> <p><u>読むこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p><u>話すこと(やりとり・発表)</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしたり、話そうとしたりしている。</p> <p><u>書くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングテスト ・定期テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングテスト ・定期テスト ・パフォーマンステスト ・言語活動の取り組み ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の取り組み ・ノート ・パフォーマンステスト ・振り返りシート ・ワークシート

Unit 1 Hajin's Diary / Daily Life 1			キャリア	SDGs	学びのプラン
単元目標: 日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと】 出来事や感想などを日記に書くことができる。【書くこと】		時間/ 34/ 時期 4~7月			
言語材料: 動詞の過去形/過去進行形	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 説明する、質問する、 依頼する	評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、 話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			
Unit 2 Basketball Tournament / Daily Life 2 / Active Grammar 1			課題対応能力		MP ①
単元目標: 友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと】 企画への希望や意見を、その場で伝え合うことができる。【話すこと】		時間 34/ 時期 4~7月			
言語材料: 動名詞/不定詞(名詞的用法)	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 褒める、説明する、 意見を言う、依頼する	評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、 話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			
Unit 3 Plans for the Summer / Daily Life 3, 4 / Active Grammar 2			キャリアプランニング能力		
単元目標: メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる。【読むこと】 用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。【書くこと】		時間 34/ 時期 4~7月			
言語材料: be going to/will	言語の使用場面/働き: 家庭での生活、メールのやり取り/ 聞き直す、歓迎する、報告する、申し出る、質問する、招待する	評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、 話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			
Unit 4 Tour in Singapore / Active Grammar 3			課題対応能力		
単元目標: グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと】 町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明することができる。【話すこと】		時間 36/ 時期 9~12月			
言語材料: 目的語<S+V+O>の文の形 <S+V+O+O>の文の形	言語の使用場面/働き: 紹介文の読み取り/ 相づちを打つ、説明する、意見を言う、質問する	評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、 話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			

Unit 5 How Do We Stay Safe? / Daily Life 5, 6 /			キャリア ア プ ラ ン ニ ン グ 能 力		MP ②			
Active Grammar 4								
単元目標: 災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。 【聞くこと】 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる【話すこと】	時間 時期	36/ 9~12月						
言語材料: 助動詞	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動, 家庭での生活 / 相づちを打つ, 説明する, 意見を言う, 命令する							
評価基準	ア聞くこと, 読むこと, 話すこと(やりとり), 書くこと イ聞くこと, 話すこと(やりとり) ウ聞くこと, 話すこと(やりとり)							
Unit 6 Guide Dogs / Active Grammar 5, 6 / Daily Life 7			課題 対 応 能 力					
Active Grammar 5, 6								
単元目標: 紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと】 わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことができる。【書くこと】	時間 時期	36/ 9~12月						
言語材料: 不定詞(形容詞的/副詞的用法) 接続詞	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動/相づちを打つ, 報告する, 意見を言う, 質問する							
評価基準	ア聞くこと, 読むこと, 話すこと(やりとり), 書くこと イ聞くこと, 話すこと(やりとり) ウ聞くこと, 話すこと(やりとり)							
Unit 7 Working Together / Active Grammar 7			人間 関 係 形 成 ・ 社 会 形 成 能 力		MP ③			
Active Grammar 7								
単元目標: ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと】 複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる。 【話すこと】	時間 時期	32/ 1~3月						
言語材料: 比較表現	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 相づちを打つ, 説明する, 発表する, 意見を言う, 質問する							
評価基準	ア聞くこと, 読むこと, 話すこと(やりとり), 書くこと イ聞くこと, 話すこと(やりとり) ウ聞くこと, 話すこと(やりとり)							
Unit 8 Performing a Play / Active Grammar 8			人間 関 係 形 成 ・ 社 会 形 成 能 力		MP ③			
Active Grammar 8								
単元目標: 手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる。【読むこと】 意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる。【書くこと】	時間 時期	32/ 1~3月						
言語材料: 受け身の文	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 相づちをうつ, 苦情を言う, 説明する, 意見を言う, 依頼する							
評価基準	ア聞くこと, 読むこと, 話すこと(やりとり), 書くこと イ聞くこと, 話すこと(やりとり) ウ聞くこと, 話すこと(やりとり)							

*なおミニラウンド制カリキュラムで Unit1~3, Unit4~6, Unit7~8 のまとまりで期間内の繰り返しの指導を行い、各ラウンドのまとめとして Story retelling や You Can Do It!の活動を行う。Let's Read に関しては、数回に分けて指導する。

音楽の学習・評価について

○音楽（2年生）の学習内容



月	単元名	学習内容	知識技能	思・判・表	主体的	MP
4	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう 「夏の思い出」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	◎	◎	○	
5	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう 「翼をください」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	◎	◎	○	○
6	音の重なり方や反復、変化を生かして、創作表現を工夫しよう 「クラッピング・ラブソディ」	○音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を感じ取る。	○	○	◎	○
7	美しく豊かな響きで曲にふさわしい表現を工夫しよう 「合唱コンクール課題曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	
8 ・ 9 ・ 10	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクール課題曲」 「合唱コンクール自由曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	
11	曲の構成に注目し、曲想の変化を味わおう 「交響曲第5番ハ短調」	○「交響曲第5番ハ短調」の音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「交響曲第5番ハ短調」のよさや美しさを味わって聴く。	○	◎	○	○
12	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう 雅楽「平調 越天楽」	○我が国の郷土の伝統音楽の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むとともに、伝統音楽に親しむ態度を養う。	◎	○	◎	
1	日本の伝統音楽に親しみ、旋律を創作しようー争ー 「さくらさくら」	○争の様々な奏法による音色の違いを感じ取って演奏する。 ○争を平調子に調弦して「さくらさくら」の前奏を創作する。	○	○	◎	○
2 ・ 3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 「3年生を送る会合唱曲」 「卒業式に向けた合唱曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	

【学習目標】

1年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を養う。

2・3年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【評価の観点の趣旨】

観点	1年	2・3年
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的にも表している。
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

知識・技能	・ワークシート ・作品	・テスト ・制作過程における作業状況（見直しなど）
思考・判断・表現	・振り返り ・アイディアスケッチ、下描き	・鑑賞のワークシート ・テスト
主体的に学習に取り組む態度	・作品 ・ワークシート	・振り返り ・アイディアスケッチ、下描き

※定期試験は実施しません。授業内で実技を含めたテストを実施します。

○授業や家庭での心がけについて

- ・理解した知識は使うことで、技能となります。

→目標を達成するように自分なりに考え手を動かすことを積み重ねることで、力は身に付きます。

- ・色や形をもったものの造形的なよさや働きについて、より深く考えます。

→色や形をもったものは世の中にたくさんあります。

日常的に目に入ったものの色や形に関心をもって見ることを習慣づけることで、発想が豊かになります。

- ・毎回の授業を大切にします。

→美術の授業は週に1～2回あります。授業に集中して取り組むことで目標を達成することが可能です。毎時間の目標をしっかりと聞き、何をすべきかを把握して授業に粘り強く取り組む姿勢を評価します。

○家庭では

美術科では身の周りにある、色や形を使って自分の考えることや思いをイメージとして伝えることを目標にしています。素晴らしい芸術作品を作ることが教科の目標ではありません。身近にある美術的な役割を理解し、言葉と同じように色や形などを使って自分自身を表現してみましょう。そして、それがうまく表現できるようになる為に様々な技術や知識を学んでいく教科です。自分から取り組んでいこうとする姿勢を大切



月	題材名	学習内容	MP
4月	【デッサン】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 絵に表現する活動	自分の気持ちを基に、デッサンの技法を用いて 表現する。	MP
5月			
6月	【鑑賞】 生活や社会を美しく豊かにする働き や、 美術文化に関する鑑賞活動	作品の鑑賞を通して社会の中で活躍する美術や 美術文化について理解を深める。	
7月			
8月	【ピクトグラム】 伝える、使うなどの目的や機能を考 え、 デザインに表現する活動	伝えたい内容を基に、形や色の表現効果を考 えてデザインする。	MP
9月			
10月	【合唱曲アート】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 絵に表現する活動	合唱曲のイメージを基に、アニメーションの技 法を用いて表現する。	
11月	【鑑賞】 生活や社会を美しく豊かにする働き や、 美術文化に関する鑑賞活動	作品の鑑賞を通して社会の中で活躍する美術や 美術文化について理解を深める。	
12月	【ソープカービング】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 彫刻に表現する活動	今の気持ちを基に、立体の技能を用いて表現す る。	MP
1月			
2月	【モダンテクニック】 知識・技能を高める活動	美術に必要な技法について理解を深める。	
3月			
*材料や行事等により一部変更の可能性があります。			

保健年間指導計画及び評価規準(2年)

年間の授業を通して個人生活における健康・安全について、基本的な技能を身につけるために、GIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	月	(領域) 単元名	時間	学習内容	評価の観点				
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	学びのプラン	SDGs
前期	4	傷害の防止	1	傷害の発生要因	・人的要因と環境要因が相互に関わりあっていると理解する。 ・要因に応じた対策を実施するための知識を身につける。				3
	5		1	交通事故の発生要因	・人的要因と環境要因、車両要因が関わり合っていることを理解する。 ・交通事故の発生から要因を正しく判断できる。				3
	6		1	交通事故の危険予測と回避	・交通事故による被害を防ぐために、危険の予測と危険の回避が必要であると理解すること。 ・危険を避けるために、どうしたらよいか判断する。				
	6		1	犯罪被害の防止	・犯罪被害の要因を理解する。 ・犯罪被害の危険を予測し、回避できるよう正しく判断できる。			○	
	7		1	自然災害による危険	・自然現象による被害を理解する。 ・自然災害による被害は一次災害だけではなく、二次災害もあることを理解する。				
	8		1	自然災害による被害の防止	・自然災害による被害を防止するための対策や行動を理解する。 ・危険を予測し、安全な行動の仕方を判断する。				
	9		1	共に生きる	・災害時の生活や心の傷について理解する。 ・自助、共助、公助が必要であると理解する。				10
	10		1	応急手当の意義と方法	・傷害による応急手当の意義を理解する。 ・傷害の状況によって応急手当の方法を判断し、実践する。				3
	11		1	心肺蘇生法	・心肺停止に陥った人に遭遇したとき、心肺蘇生法があることとその方法について理解する。 ・胸骨圧迫やAED使用の方法を理解する。			○	3
	12		1	生活習慣病の起り方	・生活習慣と病気の関わりを理解する。 ・生活習慣病の起り方を理解する。				3
後期	1	健康な生活と疾病の予防	2	生活習慣病の予防 がんの予防	・生活習慣病の予防には、適度な運動、食事、休養および睡眠、の調和のとれた生活を実施することで予防できると理解する。 ・がんの発生の仕方や要因と予防について理解する。				3
	1		1	喫煙の害と健康	・喫煙による有害物質が与える影響(害)について理解する。 ・喫煙は健康を損なう原因となることを理解する。				3
	2		1	飲酒の害と健康	・飲酒は酒に含まれるエチルアルコールの作用により、心身への影響と健康を損なう原因となることを理解する。				3
	2		2	薬物乱用の害と健康 薬物乱用の社会的影響	・覚醒剤や大麻などの薬物乱用は、心身のさまざまな影響(害)を与え健康を損なう原因となることを理解する。 ・正常な社会生活を送ることが困難になったり、社会に深刻な影響を与えたりすることを理解する。				11
	3		1	喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為には個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解する。			○	10

体育 年間指導計画 評価規準(2年)

年間の授業を通して技能向上を目指すためにGIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。

また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	(領域) 単元名	時間	学習内容	時数	評価の観点					
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	キャリア教育	学びのプラン	SDGs
前期	体育理論	3	・運動やスポーツの必要性と楽しさ	1	◎	○	○	(キ)	○	
			・運動やスポーツへの多様なかわり方	2	◎	○	◎			
			・運動の特性と学び方	3	◎	○	◎			
	体づくり運動	7	・体はくしの運動	1	○	○	○	(自)	○	
			・体力を高める運動	2・3	○	○	○			
			・やわらかさと巧みな動きを高める運動	4・5	◎	○	◎			
			・力強い動きや動きを継続する 能力を高める運動	6・7	◎	○	◎			
	陸上競技	11	・短距離走・リレー	1~2	○	○	◎	(人) (課)	○	
			・長距離走	3~6	◎	◎	◎			
			・走り幅跳び	7~11	◎	◎	◎			
器械運動	11	マット	1~4	○	○	○	(人) (課)	○		
			5~8	◎	◎	◎				
			9~11	◎	◎	◎				
後期	球技	12	バスケットボール	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			
	球技	12	バレーボール	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			
	武道	12	柔道	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
9~12				◎	◎	◎				
ダンス	12	ダンス	1~4	○	○	○	(人) (課)	○		
			5~8	◎	◎	◎				
			9~12	◎	◎	◎				

<技術分野> 指導と評価の計画【B 生物育成の技術】（1年、2年、3年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会を支える生物育成の技術	4	<p>○生物を育てる技術の目的について理解する。</p> <p>○地域で生産されている特産物とその特徴について調べ、まとめることができる。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解する。</p> <p>○育成環境を工夫し、スプラウトを育成することができる。</p> <p>○作物の成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解する。</p> <p>○動物を育てる管理技術について、関連付けて考えることができる。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解する。</p> <p>○天然魚と養殖魚について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</p>	<p>○生物を育てる技術の目的について理解している。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解している。</p> <p>○育成環境を工夫しスプラウト（1年）・トマト（2年）・二十日大根（3年）を育成することができる技能を身に付けている。</p> <p>○作物の成長を管理する技術について理解している。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解している。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、「技術見方・考え方」に気付くことができる。</p>	<p>○主体的に生物育成の技術について考えようとしている。</p>
生物育成の技術による問題解決	8	<p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○育成する作物に適した環境条件を考えることができる。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。</p> <p>○植物の成長の様子などを適切に観察し、記録することができる。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行うことができる。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。</p>	<p>○育成する作物に適した環境条件について考えている。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとする。</p>
社会の発展と生物育成の技術	3	<p>○生物育成の技術の最適化について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術の光と影について考えることができる。</p> <p>○これからの生物育成の技術について考えることができる。</p>	<p>○生物育成の技術の概念について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術の最適化について考えている。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>	<p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</p>

MP

実習時に再度MPを配布する場合があります。

<技術分野>指導と評価の計画【Cエネルギー変換の技術】（2年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	6	<p>○生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解する。</p> <p>○エネルギー変換の技術が用いられている製品について調べることができる。</p> <p>○発電の仕組みと特徴について理解する。</p> <p>○さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えることができる。</p> <p>○電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解する。</p> <p>○送電・配電の技術の工夫について考えることができる。</p> <p>○電気回路のしくみについて理解する。</p> <p>○簡単な電気回路を回路図であらわすことができる。</p> <p>○電気機器の安全な使い方について理解する。</p> <p>○電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。</p> <p>○機械が運動を伝える仕組みについて理解する。</p> <p>○運動の種類とエネルギー変換について理解する。</p> <p>○機械が運動を伝える仕組みについて理解する。</p> <p>○運動の種類とエネルギーについて理解する。</p> <p>○回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解する。</p> <p>○速度伝達比と回転力（トルク）の関係について考えることができる。</p> <p>○リンク機構やカム機構について理解する。</p> <p>○熱や水、空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解する。</p> <p>○共通部品を用いることのメリットについて考えることができる。</p> <p>○機械の保守点検の必要性を理解する。</p>	<p>○生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。</p> <p>○発電の仕組みと特徴について理解している。</p> <p>○電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。</p> <p>○電気回路の仕組みについて理解している。</p> <p>○簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。</p> <p>○電気機器の安全な使い方について理解している。</p> <p>○機械が運動を伝える仕組みについて理解している。</p> <p>○運動の種類と運動エネルギーへの変換について理解している。</p> <p>○機械が運動を伝える仕組みについて理解している。</p> <p>○運動の種類と運動エネルギーへの変換について理解している。</p> <p>○回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。</p> <p>○リンク機構やカム機構について理解している。</p> <p>○熱や水空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。</p> <p>○機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。</p> <p>○エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。</p>	<p>○さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。</p> <p>○送電・配電の技術の工夫について考えている。</p> <p>○電気による事故を防ぐ方法について考えている。</p>	<p>○主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。</p>
	10	<p>○エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、問題を見出すことができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○構想に基づいて設計し、回路図や組立図にまとめることができる。</p> <p>○部品を適切に調整しながら組み立て、製作することができる。</p> <p>○製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。</p> <p>○製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとする。</p>
	2	<p>○エネルギー変換の技術の最適化について考えることができる。</p> <p>○エネルギー変換の技術の光と影について考えることができる。</p> <p>○これからのエネルギー変換の技術について考えることができる。</p>	<p>○エネルギー変換の技術の概念について理解している。</p>	<p>○エネルギー変換の技術の最適化について考えている。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギーの技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>	<p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。</p>

MP

<技術分野>指導と評価の計画【情報の技術】（2年、3年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価基準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会を支える情報の技術	3	<p>○情報の表現や記録ができる仕組みを理解する。</p> <p>○情報の技術によって生活や社会がどのように変化してきたかを考えることができる。</p> <p>○情報のデジタルの仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解する。</p> <p>○情報をデジタル化する際の最適な方法を考えることができる。</p> <p>○情報ネットワークの構成について理解する。</p> <p>○情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを理化する。</p> <p>○情報の特性を理解して情報を安全に利用できる。</p> <p>○情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付ける。</p> <p>○情報セキュリティの基本的な知識について理解する。</p> <p>○情報の安全を理解するために必要な判断や対応ができる。</p> <p>○身の回りにおける情報の技術の工夫点について理解する。</p> <p>○情報の技術に込められた工夫について考えることができる。</p>	<p>○情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。</p> <p>○情報のデジタルの仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解している。</p> <p>○情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。</p> <p>○情報通信ネットワークの構成について理化学している。</p> <p>○情報通信ネットワーク上で情報を利用する仕組みについて理解している。</p> <p>○情報の特性を理解して、情報を安全に利用できる知識を身に付けている。</p> <p>○情報セキュリティの基本的な知識について理解している。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</p>	<p>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</p> <p>○情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。</p> <p>○情報の安全を確保するために必要な判断や対応する力を身に付けようとしている。</p>
双方向性のあるコンテンツによる問題解決	6	<p>○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解する。</p> <p>○双方向性のあるコンテンツの利用方法を考えることができる。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる。</p> <p>○情報処理の手順を具体化することができる。</p> <p>○コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</p>	<p>○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。</p> <p>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技術を身に付けている。</p> <p>○コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</p>	<p>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</p> <p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとしている。</p>
計画・制御システムに関する問題	14	<p>○計画・制御システムの基本的な構成を理解する。</p> <p>○計画、制御システムにおけるプログラムを理解する。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○入出力されるデータの流れをもとに、計画・制御システムを構想する。</p> <p>○情報処理の手順を整理することができる。</p> <p>○安全で適切なプログラムの制作と、動作の確認、デバッグができる。</p> <p>○情報処理の手順を具体化する。</p> <p>○計画・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</p>	<p>○計画・制御システムの基本的な構成を理解している。</p> <p>○計画、制御システムにおけるプログラムを理解している。</p> <p>○入出力されるデータの流れをもとに、計画・制御システムを構想する力を身に付けている。</p> <p>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技術を身に付けている。</p> <p>○計画・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</p>	<p>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</p> <p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとしている。</p>
社会の発展と情報の技術	3	<p>○情報の技術の最適化について考えることができる。</p> <p>○情報変換の技術の光と影について考えることができる。</p> <p>○これからの情報の技術について考えることができる。</p>	<p>○情報の技術の概念について理解している。</p>	<p>○情報の技術の最適化について考えている。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>	<p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>

実習時に再度MPを配布する場合があります。

〈家庭分野〉指導と評価の計画【B衣食住の生活】 《1・2・3年》



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事の役割	2	○食事の役割と望ましい食習慣について理解する。 ・自分自身の食生活を振り返って課題を見つけ、改善策を考える。	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	○自分の食習慣について課題を見だし、解決策を考える力を身につけている。	○食事の役割や中学に必要な栄養の特徴を踏まえ、食生活における課題の解決に取り組もうとしている。
栄養学を満した必要な食	4	○栄養の種類や食品の栄養的性質を理解するとともに、現在の自分に必要な栄養素の量がわかり、必要を満たす献立を立てられるようになる。 ・栄養の種類と概量、食品の栄養的特質を知るとともに、必要量を満たす献立をつくる。	○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生である自分自身の1日分の献立について、問題を見出して課題を検討し、改善策を考えることができている。	○中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の発見や検討に主体的に取り組もうとしている。
日常食の調理と地域の食文化	17	○調理の基礎技能を基に、必要な栄養を満たすように調理の計画を立て、日常食等を調理することができる。 ・食品の安全と衛生、選択の方法についての理解をもとに、適切な方法を検討する。 ・食生活や調理における自らの課題を検討し、調理の計画立案と調理を通じて改善を図る。	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解している。 ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解している。 ○材料に適した加熱調理の方法について理解している。 ○地域の食文化について理解している。 ○基礎的な日常食等の調理において、安全で衛生的な管理のもと、材料に適した調理を実践できる。	○調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想するとともに、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する中で、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、日常食等の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりすることにより、生活を工夫・創造しようとしている。
衣服の選択と手入れ	9	○社会生活を送る上で求められる衣服の着用・選択と、個性を生かす着用・選択について考えられるようになる。 ・場面に応じた衣服の着用と選択について例を考える。 ○衣服の状況に合わせた手入れを行い、活用できるようにする。 ・衣服の手入れの方法や活用の工夫について、事例を通じて考える。	○衣服と社会生活とのかかわりについて、また目的に応じた着用、個性を生かす着用、および衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの方法について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し、改善の方向性を考え、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題を解決する力を身につけている。	○衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
生活を豊かにするための布を用いた製作	11	○目的に応じた材料の選択や、素材に合わせた縫い方を理解し、適切に製作できる。 ・素材に合った用具の取扱いを考えながら、布を用いた物を製作する。	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、適切に製作できる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画と製作において、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し改善の方向性を見出し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
安全居な住まぬと方	8	○住生活を快適で安全に送ることができるよう、住空間を整えることができるようになる。 ・住居の基本的機能や、住居における安全の確保について検討し、改善策を表現する。	○家族の生活と住空間とのかかわりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
衣食住の生活と実践	3	○衣食住の生活をよりよくすることができるようになる。 ・家族・家庭生活や消費生活・環境の視点を踏まえ、衣食住の生活についての課題を設定し、計画・実践・省察する。		○衣食住の生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に（適切な場合には協働で）取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

〈家庭分野〉 指導と評価の計画【C消費生活・環境】 《2・3年》



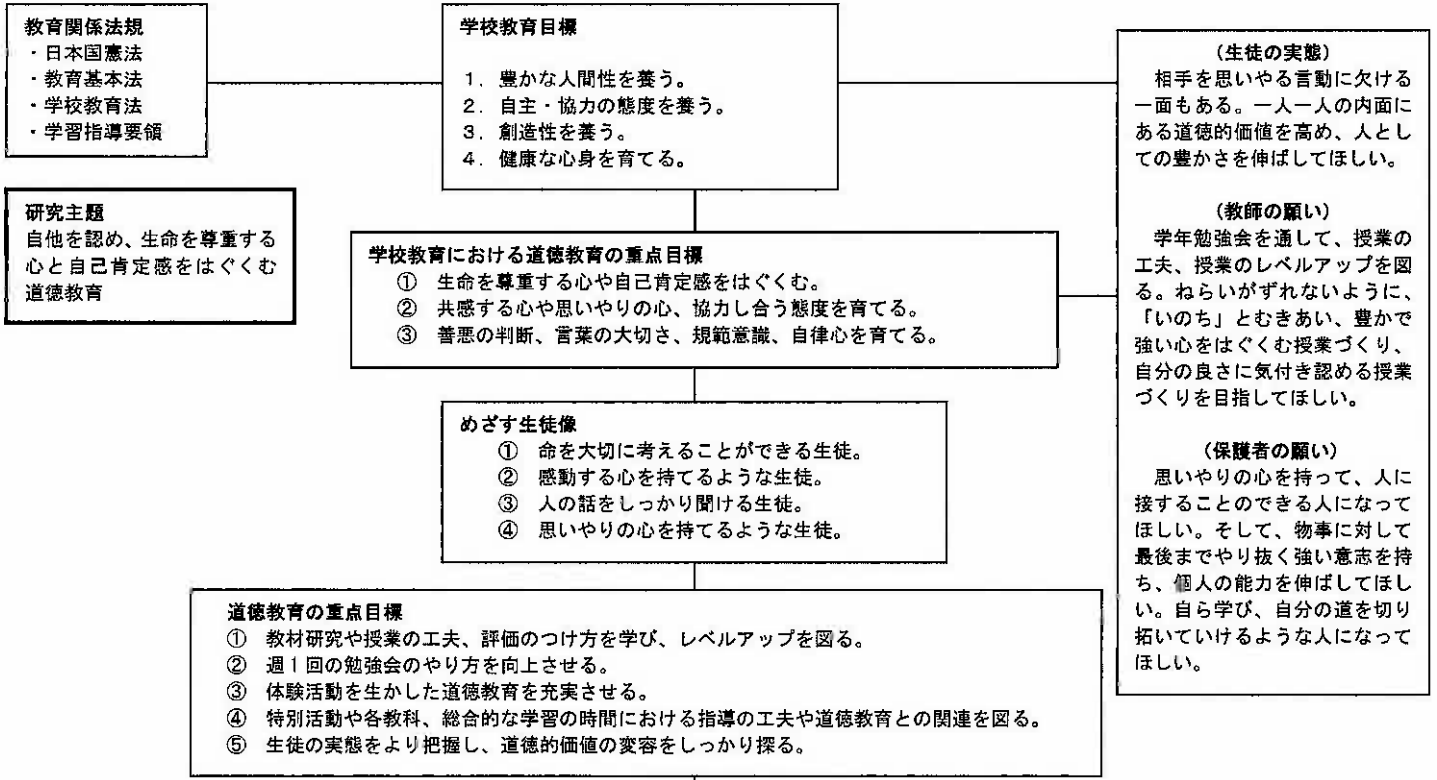
小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
金銭の 管理と 購入	8	○消費生活に不可欠な金銭の管理ができるようになるとともに、生活資源の管理に必要な情報収集と活用の視点を身につける。 ・売買契約や購入・支払方法についての理解を踏まえ、適切な入手等の方法について考える。	○購入方法や支払方法の特徴が分かるとともに、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者トラブルの背景や対応について理解している。物資・サービスの選択に必要な情報を活用し、選び方や買い方を工夫することができる。	○物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。	○金銭の管理と購入について、解決策の構想に主体的に取り組んだり、自分自身の消費生活と結びつけて考えたりしようとしている。
消費者の 権利と 責任	4	○責任ある消費生活を送るための視点を身に付け、自立した消費生活を送ることができるようになる。 ・消費者の権利と責任を果たせるような消費行動とはどのようなものか考える。	○消費者の基本的な権利と責任、また消費生活が環境や社会に与える影響について理解している。	○自立した消費者としてとるべき適切な消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する中で、課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任についての課題解決に主体的に取り組んだり、改善策を考えようとしたりするなど、生活を工夫・創造・実践しようとしている。
消費生活・ 環境に 関する 課題と 実践	(1)			○自分や家族の消費生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に（適切な場合には協働で）取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

学級活動年間指導計画 (2学年)

- 学級活動
- 1 学級や学校の生活づくりへの参画
 - 2 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康教育
 - 3 一人一人のキャリア形成と自己実現

目標 : 生徒一人ひとりの活動への意欲を高め、主体的に考える心を育成し、集団生活の向上を図る。

月	題 材	学級活動			生徒会	学校行事	活 動 内 容
		1	2	3			
4	◇2年生になって	◎	○	○			・2年生としての心構えや、抱負、希望を書いたり発表したりする。
	◇私たちの学級	◎			○		・学級内での委員や係を決める。 ・学級目標や約束事を決める。 ・日直や班活動の仕事の確認を行う。
	◇生徒会活動を理解しよう	◎			◎		・生徒一人ひとりが生徒会員であることを自覚する。 ・生徒会の組織や活動の内容を理解する。
	◇体育祭に向けて	◎	○		○	◎	・体育祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。 ・選手や応援団員を選出し、役割を決める。
	◇教室環境を整えよう	◎	○	○			・教室内の掲示物についての作成計画を立て、実施する。 ・教室環境を整えるための具体的な方法や個々の役割について話し合う。
5	◇体育祭への参加と反省	◎	○		○	◎	・体育祭を振り返り、学級や個人の目標が達成できたかを考え、話し合う。
	◇生徒総会に向けて	◎	○	○	◎		・生徒総会の議案書の検討を行い、活動計画案や予算案などへの質問や意見を集約する。
6	◇学級活動の見直し	◎	○	○			・日々の学級活動について、改善点を考え、これからの学級活動の活性化を図る。
	◇新体カテストに向けて		◎			◎	・新体カテストの目的や意義を理解し、意欲的に取り組もうとする。
	◇健康な生活		◎				・虫歯について知り、予防方法を考える。
	◇中間テストに向けて			◎		○	・学習の仕方や計画の立て方を話し合い、自分自身の学習目標や、学習計画を立てる。
7	◇健康な生活		◎				・熱中症について知り、対処方法を考える。
	◇企業市民に学ぶ		○	◎			・自分自身の個性や特徴をふまえ、自分にはどんな職業が適しているのかを考える。
	◇ものづくり体験	○	◎	◎		◎	・ものづくり体験を通して、実際に仕事を体験し、働くことや学ぶことの意味を考える。
	◇夏休みの計画と過ごし方	○	○	○			・学習や部活動、家庭や地域での活動など、有意義な生活ができるよう計画を立てる。
8	◇夏休みを振り返って	○	○	○			・しおりをもとに、これからの学習や生活のめあてを持つ。
9	◇緊急時の対応	○	◎			◎	・地震災害などの非常時を想定し、対処方法を考える。
	◇期末テストに向けて			◎		○	・学習目標や計画を立てる。
	◇校外学習へ向けて	◎	○	○		◎	・校外学習の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇生徒会役員選挙	◎		○	◎		・立会演説会等の選挙活動に関わり、生徒会本部役員にふさわしい候補者を選ぶ。
	◇文化祭に向けて	◎	○		○	◎	・文化祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇学期のまとめと反省	◎	○	○			・前期の振り返りを行い、学級や個人の成果と反省を考える。
10	◇学級組織の再編成	◎			○		・前期の活動を振り返り、後期の委員や係を決める。
	◇文化祭への参加と反省	◎	○		○	◎	・しおりや反省用紙をもとに、文化祭の目的がどれだけ達成できたかを話し合う。
	◇合唱コンクールへの参加と反省	◎	○		○	◎	・合唱コンクールの意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
11	◇学級活動の見直し	◎			○		・班や係活動を見直し、学級をさらに向上させるための話し合いを行う。
	◇進路と生活			◎			・自分たちの進路選択について考える。
12	◇中間テストに向けて			◎		○	・学習目標や計画を立てる。
	◇パースル出前授業①		○	◎			・自分自身の個性や特徴をふまえ、自分にはどんな職業が適しているのかを考える。
	◇1年間の振り返りと冬休みの過ごし方	○	○	○			・1年間の振り返り、自分自身の課題や反省点について、発表したり、書いたりする。
1	◇新しい年を迎えて	○	○	○			・新年の抱負を発表したり、掲示物として作成したりする。
	◇進路と生活			◎			・上級学校にはどのようなものがあるかを調べ、発表する。
	◇進路と生活			◎			・自分自身の個性や特徴をふまえ、自分にはどんな職業が適しているのかを考える。
	◇職場体験に向けて	○	○	◎		◎	・職場体験の意義や目的を知り、働く力について考える。
	◇生徒総会に向けて	◎	○	○	◎		・1年間の生徒会活動を振り返り、次年度の生徒会活動の向上させるための話し合いを行う。
2	◇健康な生活		◎				・タバコの害について知り、体への影響などについて話し合う。
	◇三年生を送る会に向けて	○			◎		・三送会の企画を検討し、会の準備を行う。
	◇パースル出前授業②		○	◎			・自分自身の個性や特徴をふまえ、自分にはどんな職業が適しているのかを考える。
	◇期末テストに向けて			◎		○	・1年間の学習を振り返り、目標・計画を立てる。
3	◇卒業式に向けて	○				◎	・中学校の大きな節目の式典にふさわしい気持ちと態度で参加する。 ・卒業生に感謝の気持ちを伝える方法を考え、話し合う。
	◇今年度を振り返って	○	○	○			・1年間の振り返りを行い、成果と反省を見出し、発表する。
	◇春休みの生活と新年度の準備	○	○	○			・春休みの過ごし方を確認し、生活の計画を立てる。



学年ごとの重点目標

1 学年目標	2 学年目標	3 学年目標	特別支援目標
<p>＜学年目標＞</p> <p>◎自主・自律・自浄・自治を目指し、失敗を恐れずに挑戦できる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学年目標＞</p> <p>◎自ら考え、よりよい行動ができる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学年目標＞</p> <p>◎気づき考え行動できる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (3) 向上心、個性の伸長 B- (9) 相互理解、寛容 C- (13) 勤労 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学級目標＞</p> <p>一人ひとりの主体性や充実感を大切に、たくましく生きていける力を育成する。</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主・自律・自由と責任 B- (7) 礼儀 C- (13) 勤労 D- (22) よりよく生きる喜び</p>

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・領域外	家庭地域社会
<p>国語 基礎学力の定着と主体的に取り組むための指導の工夫</p> <p>社会 集団や社会への関心と、その一員としての自覚を育む生徒の育成</p> <p>数学 生徒の主体的な活動を通して、基礎・基本の定着を図り、深い学びを目指す授業</p> <p>理科 科学的な見方・考え方を育てるための学習内容を考え、深い学びにつながる授業の工夫</p> <p>音楽 音楽の良さや美しさを味わい、思いをもって豊かに表現する生徒を育てる</p> <p>技・家 学ぶ意欲を伸ばすための学習指導の充実</p>	<p>美術 表現や鑑賞の活動を通して造形的な視点を豊かにする工夫</p> <p>外国語 自分の考えをもち、学び合いの中で発信しながら、お互いに認め合い、自己肯定感を高められる授業づくり</p> <p>保健体育 見方・考え方を働かせ、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指すための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p> <p>体育 見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しみ豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p>	<p>道徳の時間は、全領域で行われる道徳教育との関連を図り、要となり、系統的に、深化・補充・統合する。また、道徳の時間は、資料および地域の方々へ協力してもらい、年間計画に沿ってねらいの重点化を図りつつ、指導目標を達成する。</p> <p>・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。</p> <p>・相手の立場に立って考えたり、思いやりのある行動ができたりするなどの好ましい人間関係を育て、所属感・存在感のある学級活動が図れるようにする。</p> <p>・道徳性の高揚を目指し、生徒が自ら考え、正しい判断のもとに責任を持って行動できるようにする。</p>	<p>・社会の一員として、自立して生きる力を育てる。</p> <p>・あらゆる体験活動を通して豊かな心を持つ生徒を育てる。</p> <p>・体験活動を日常のすべての体験に生かすことのできる指導を工夫する。</p> <p>・保護者・地域の方々との連携を図りながら、充実した道徳の授業を実践する。</p> <p>・全教育活動を通して道徳的価値を見いだせるように工夫する。</p>	<p>・地域の行事などを通して、社会連帯の自覚が高まるように、協力する。</p> <p>・保護者・地域との連携を密にして学校教育の目標達成のための協力を得る。</p>

道徳実践の場
学級経営

令和8年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間計画

今年度は1年間、キャリア教育とSDGsを学びます。

月	時数	学習内容・ねらい	観点			キャリア在り方生き方教育の視点				SDGs
			知	思	主	人	自	課	キャ	
4	4	○オリエンテーション（課題の設定） ・探究課題の設定、1年間の見通しをもつ			○			○	○	
5	4	○働くことについて考えよう		○			○		○	
6	10	・エナジードによる探求学習（整理・分析） ・はばたきによって自分自身を知る(情報の収集)								
7	12	○川崎区企業・市民に学ぶ ・川崎区にある企業の人たちから、職業観やSDGsの視点を学ぶ。(情報の収集) ○神奈川県立東部総合職業技術校のものづくり体験教室（情報の収集） ・実際の機械に触れ、働くイメージを付ける ○校外学習事前学習（情報の収集） ・ルートや目的（SDGs）について考える	○			○		○	○	  
9	4	○東京校外学習及び事後学習 ・様々な職業にふれ、キャリアについて考える			○	○	○			
10	6	○働くことについて考えよう ・エナジードによる探求学習（整理・分析）		○					○	
11	6	○パーソン出前授業によって職業人の職業観を知り、職場体験につなげる（情報の収集） ・様々な職業人の話を聞いて、課題を探究する	○					○	○	
12	6	○出前授業を通して、学んだことを振り返る ・出前授業を通して、学んだことを課題解決に結びつける。						○	○	
1	6	○職場体験学習 ・職場体験を通して、働くことについての自分の考えを振り返る。		○	○	○			○	
2	6	○進路選択へ向けて ・来年度の進路選択に向けて、今までの学習と関連付けて考える。		○	○		○	○		
3	6	○1年間で学んだことを振り返り、課題解決する。 ・1年間の学びを振り返り、課題の解決を行う。		○	○			○	○	

観点：知＝知識及び技能、思＝思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

キャリア在り方生き方教育の視点：人＝人間関係形成・社会形成能力 自＝自己理解・自己管理能力 課＝課題対応能力 キャ＝キャリアプランニング能力

課題を探究するための体験授業

○神奈川県立東部総合職業技術校（かなテクカレッジ東部・7月実施予定）

○川崎区役所地域振興課 企業・市民に学ぶ会（7月実施予定）

○パーソンキャリア出前授業（2回実施予定）

○職場体験学習（NPO 法人アスリード・1月実施予定）

課題を探究するための教材

○キャリア在り方生き方ノート はばたき

○次世代型キャリア教育 探求教材 ENAGEED